

読書活動推進NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



学校の読書環境の充実 ～旭田小学校～

1月28日(火)、旭田小学校の読書環境について取材しました。

下郷町では、学校司書が各学校を回り、学校の読書環境を整備したり、読み聞かせを行ったりしています。図書室周辺の掲示からは、図書委員会の活動も充実していることがわかります。学校司書、図書館担当教諭、図書委員会が相互に連携しながら、本に親しみやすい環境がつけられていると感じました。



↑ 旭田小学校伝統の「読書の木」の取組です。子供たちが、読んだ本の題名や感想を書いて「読書の実」として貼っています。

図書委員お薦めの本紹介の掲示です。学校司書の方も掲示を手伝っているそうです。

廊下には、授業の際、子供がすぐに手に取れるよう、調べ物の本や語学の本が並んでいます。



↑ 図書室内の掲示です。季節の掲示と共に、県の生涯学習課の事業において県内の子供たちが作った「ジャーナリストスクール新聞」が掲示してありました。

← 新しく入った本が並べられています。背表紙だと分かりにくいので、表紙が見えるように置いてあるそうです。

旭田小学校は、10月に実施した「読書に関する調査」において、「読書をしたきっかけ」や「読んだ本を手に入れた方法」の項目で「学校図書館で」と答えた児童の割合が高い学校です。

学級文庫の入替や本棚の整理、新しく入った本の受付処理、掲示作り、選書のアドバイス、読み聞かせ等々、学校の要望や子供たちの実態に応じて、読書環境を整えてくれている学校司書の長沼さんの存在が読書環境の充実につながっていると感じました。



本の補修をする長沼さん